

目で確認 声出し確認 火の用心

令和6年度東京消防庁火災予防啓発
作者：岩崎 公博美さん(清瀬市在住)

備えこそが
最大の火災予防

*Preparation is the best way
to prevent fires*



東京消防庁 公益財団法人 東京連合防火協会

河北麻友子さん出演のスペシャル動画はこちら▶

東京消防

検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防庁公式アプリ配信中!!



11130-08008

消防の お知らせ

東京消防庁

公益財団法人 東京連合防火協会

No. 221 令和6.10

秋の火災予防運動 11月9日～11月15日



令和6年度 東京消防庁火災予防標語

目で確認 声出し確認 火の用心

作者 岩崎 公瑠美さん (清瀬市在学)

11月9日から同月15日までの一週間、秋の火災予防運動を実施します。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたって、都民の皆様には防火防災意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万一が発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

特に冬は住宅火災に気を付けましょう！

令和6年中(令和6年8月26日現在)、東京消防庁管内では2,852件(速報値)の火災が発生しています。特に冬は、空気が乾燥したり、暖房器具を使用する機会が増えたりすることで火災発生リスクが高まります。日頃から火災予防に心がけましょう！

住宅火災の主な出火原因

たばこ

- 寝たばこは絶対にしない。
- 飲酒しながら喫煙し、うたた寝をしないようにする。
- 吸い殻の火種を完全に消し、吸い殻は灰皿やごみ箱にためないようにする。



ストーブ

- 外出時や就寝時は必ず消す。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- ストーブの近くで洗濯物を干かさなない。
- 給油は必ず消してから行う。



こんろ

- 調理中はその場から離れない。
- 周囲を整理整頓し、可燃物を置かない。
- 換気扇や魚グリル等は定期的に掃除する。



コード

- 家具の下敷きや折れ曲がりに注意する。
- 電源タップは決められた容量内で使用する。
- 束ねて使用しない。
- コンセント周りは清掃する。



回覧 (裏面もごらんください)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

持っていますか？マイ消火器

火を消す道具として一番身近にあるものは消火器具です。火事起きた時には消火器具を使用し、初期消火を成功させることで被害を軽減することができます。また、水では消せない油火災にも対応しています。ご自宅にマイ消火器を備えましょう！

住宅用消火器について



住宅用消火器は、一般的に小型で軽く、女性やお年寄りでも取り扱いやすいのが特徴で、維持管理も比較的簡単です。

また、塗色の規定がないため、赤だけではなく、様々な色があります。中の消火薬剤が強化液のものと粉末のもの2種類があります。

エアゾール式簡易消火具について



エアゾール式簡易消火具は、家庭内で発生する天ぷら鍋の油の過熱による発火など、比較的初期段階の火災に有効な消火具です。スプレー式で片手で簡単に使用できます。

消火器の使い方を確認しましょう

いざという時に使えるように使い方とポイントを確認しましょう！



1 火元まで搬送



2 安全ピンを抜く



3 ノズルを火に向ける



4 レバーを強く握る



5 燃焼物に直接放射



ポイント

- 火事を見つけたら、大きな声で「火事だ!」と周りに知らせましょう。
- 運ぶ前に安全ピンを抜いてしまわないように注意しましょう。
- 消火器による消火の限界の目安は、炎が天井に達するまでです。
- 何が燃えているのか、しっかり確認しましょう。
- 逃げ道をしっかり確認しておきましょう。

危険と感じた場合は、ただちに安全な場所に避難し、消防隊の到着を待ちましょう！

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページや東京消防庁公式アプリへはこちらからアクセスできます。



問合せ先

きたたませいぶ

消防だより

秋の火災予防運動

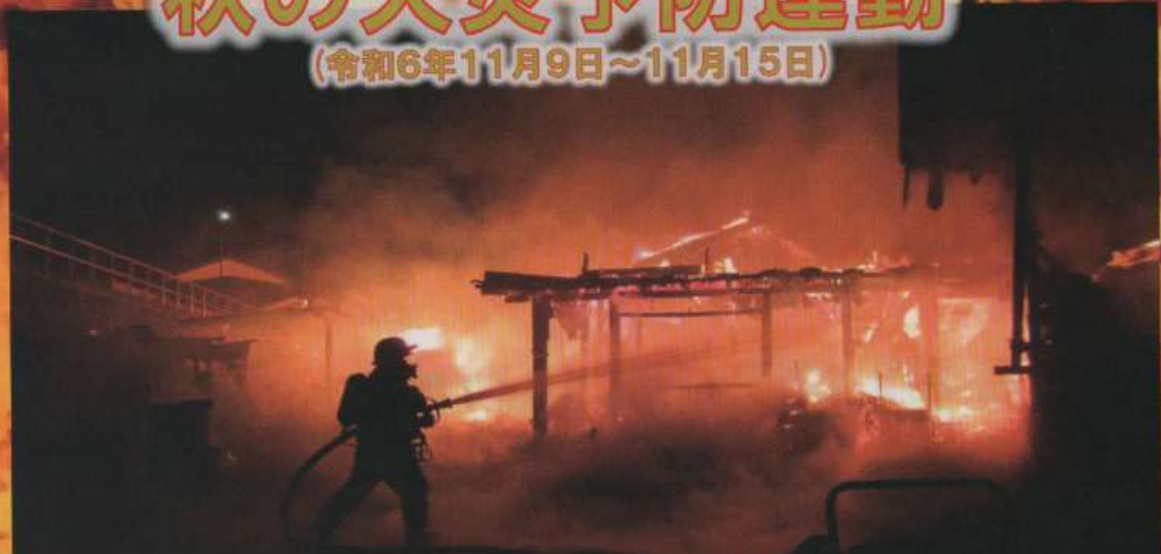
(令和6年11月9日～11月15日)

2024.10

Vol.110

発行:北多摩西部災害防止協会

監修:北多摩西部消防署



令和6年度 東京消防庁火災予防標語

目で確認 声出し確認 火の用心

(作者 いとうくさみ 岩崎公瑠美さん 青瀬市在学)

火災に注意！火の用心！！

○令和6年北多摩西部消防署管内の火災件数（令和6年9月30日現在）

区分	管内	東大和市	武蔵村山市
火災件数	30件	14件	16件
死者	0人	0人	0人
傷者	3人	2人	1人

○令和6年北多摩西部消防署管内の主な出火原因

- 1位・・・放火及び放火疑い
- 2位・・・電気関係
- 3位・・・たばこ

冬は暖房器具を使う家庭が多くなり、空気が乾燥しているから火災が発生しやすいんだ！みんなも気を付けよう！



火の出やすい場所を知ろう！

ストーブ <small>約8割は電気ストーブ</small>	こんろ <small>出火原因第1位</small>	コード <small>身近に潜み知らぬ間に出火</small>	たばこ <small>住宅火災の死者発生率第1位</small>
<ul style="list-style-type: none"> ・周囲に燃えやすいものを置かない ・ストーブの近くで洗濯物を干さない ・外出時や就寝時は必ず消す 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全機能付きこんろを使用する ・調理中はこんろから離れない ・周囲に可燃物を置かない ・鍋底から火がはみ出さないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・家具の下敷きや折れ曲がり要注意 ・電源タップは決められた容量内で使う ・コード回りを点検・清掃する ・束ねて使用しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たばこは絶対にしない ・吸い殻は水に浸けて完全に消火する ・禁煙、加熱式たばこに切り替える
			

住宅用火災警報器で自分の身を守ろう！

あなた自身はもちろん、大切な**家族の命**を住宅火災から守るためにも**住宅用火災警報器**を設置しましょう。また、火災を早期に発見することで、初期消火や通報等の行動が早まり、近隣への延焼被害も軽減します。火災による死者の**9割以上が住宅火災による死者**です。



「鳴りますか？」
住宅用火災警報器」HP

住宅用火災警報器で火災の早期発見を



- 設置場所は全ての居室・台所・階段です。
- 定期的に作動確認をしましょう。
- 設置後10年を経過したものは**機器本体を交換**しましょう。

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、音声や警報音で火災の発生を知らせます。



半年に1回以上、作動確認し、正常に動くか確認しましょう！

※ 作動確認時の音声は自動で停止します。

○武蔵村山市・東大和市の住宅用火災警報器設置費用の助成について

武蔵村山市では令和6年4月1日から65歳以上の高齢者一人暮らし等の方を対象に1つあたり5,000円の助成が出ます。

東大和市では令和6年8月1日から65歳以上のみの世帯を対象に1世帯あたり5,000円の助成が出ます。

※助成を希望する方は各市役所にお問い合わせください。

消防に関するご相談・お問合せ先

ホームページ

北多摩西部消防署

検索

北多摩西部消防署

〒207-0023 東大和市上台1-956-1

TEL 042(565)0119

武蔵村山消防出張所

〒208-0022 武蔵村山市榎1-1-36

TEL 042(563)0119

東大和消防出張所

〒207-0016 東大和市仲原3-2-6

TEL 042(562)0119